

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
信州松本動物専門学校		令和6年4月1日		田中 正吉		〒 390-0841 (住所) 長野県松本市渚2丁目8番4号 (電話) 0263-29-1200		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日		青山 織人		〒 390-0841 (住所) 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500		
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
商業実務	商業実務専門課程	ペットライフケア学科	平成23年文部省告示第167号	-	平成27(2015)年度			
学科の目的	ペットライフケア学科では、全国動物専門学校協会認定サロントリマー検定の実施を筆頭に、動物に関する各種資格取得を目標とし、実習を中心に人と動物の関わりに関連するあらゆる知識と技術を身につける。また、コンピュータ操作やビジネスコミュニケーション能力の習得にも努め、ペット業界のスペシャリストを育成するとともに良識のある社会人を目指す。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	学習内容は多岐に渡り、ペット美容トリマー専攻に於いては実際の飼主とコミュニケーションを取り、より実務に近く即戦力になる人材を育成。AAVサロントリマー検定取得をめざす。動物飼育・ドッグトレーニング専攻に於いても、学校保有動物の世話を通して生態の知識、観察力を養い動物福祉の理解と遵守に努める。両専攻共にドッグショー見学や動物系イベントスタッフ参加研修もあり、高いモチベーションを維持しつつ学習に取り組むことが出来る。(令和5年度、学科中退率は6.7%)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位数、単位いずれかに記入	単位時間 62 単位	単位時間 15 単位	単位時間 7 単位	単位時間 51 単位	単位時間 0 単位	単位時間 0 単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)					
60 人	59 人	0 人	0 %					
就職等の状況	■卒業者数(C)		28 人					
	■就職希望者数(D)		25 人					
	■就職者数(E)		24 人					
	■地元就職者数(F)		20 人					
	■就職率(E/D)		96 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		83 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		86 %					
	■進学者数		0 人					
	■その他							
	1名は、企業への就職を希望せず、プロダクションに入り表現者を目指す							
2名は、身体的理由により、フルタイム勤務を断念。								
1名は、入籍予定につき雇用形態、時期調整中								
(令和 5 年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和5年度卒業生)								
RIO株式会社(犬カフェRio吉祥寺店)、リーフ動物病院、ワンルーク、おくはら動物病院、株式会社Pooch、(有)ワンポイント安曇野店、(有)フォルテ&ドンビー、株式会社ネットワーク(DOGDEPT)、KEN.129、犬の家猫の里、イオンペット株式会社、スエトシ牧場 など								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:		無					
※有の場合、例えば以下について任意記載								
評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL				
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.mirai.ac.jp/mia/course/pet-life/">https://www.mirai.ac.jp/mia/course/pet-life/</a>							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A:単位時間による算定)							
	https://www.mirai.ac.jp/mia/course/pet-life/		総授業時数		単位時間			
			うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位時間			
			うち企業等と連携した演習の授業時数		単位時間			
			うち必修授業時数		単位時間			
			うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位時間			
			うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位時間			
			(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位時間			
	(B:単位数による算定)							
			総授業時数		62 単位			
			うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		1 単位			
			うち企業等と連携した演習の授業時数		1 単位			
			うち必修授業時数		13 単位			
			うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		1 単位			
			うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		1 単位			
		(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位				

教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	2人
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人
	計	2人
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2人

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ペットライフケア学科に在籍する学生の主たる就業先であるペット業界において、学科の主たる目標であるトリマー職に求められる技術や知識だけでなく、トリミング技術以外に必要な知識や心得など、現場が期待する総合的な人材像を把握することは実践的な人材育成のために不可欠である。また、飼育や販売などトリマー職以外に就く学生もいることから、これらの職種に就くために有用な知識や技能ならびに人材像を把握することも同様に不可欠である。これらの職業に向けた人材育成のための授業方法や最適な科目構成を検討し改善するために、教育課程編成委員会を設置し、これを活用して業界企業等からの要請や最新動向などを学科の教育活動に十分に取り入れることを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は教務部の下に置く。委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、校長の許可を経て「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
北村 理恵子	Dog Life Lien 経営者 長野県動物愛護推進員	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	③
腰原 亜希	Kファームクリニック 獣医師	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	②
福澤 美雪	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ ペットビジネス学部 学部長		—
小林 和愛	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 講師		—
山崎 優里奈	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 講師		—
竹村 みすず	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 講師		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第16回 令和03年09月22日 10:30～11:30

第17回 令和04年03月10日 11:00～12:00

第18回 令和04年10月19日 11:30～12:30

第19回 令和05年02月28日 10:00～11:00

第20回 令和05年09月21日 10:30～11:30

第21回 令和06年03月07日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナ禍で高校生活を送ったためか、コミュニケーションの取れない学生、取りづらい学生がおり、意欲的な学生と消極的な学生の二極化が見られた。授業に於ける質問が多い一方で、補講対象者が増える結果となった。また、あいさつ返事や学生同士のコミュニケーション(試験範囲や欠科補填等)も取れていない様子。今後学生への声掛け、伝わるような言葉選びを考えながら実施していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
 本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・職業団体等が講師契約、または、施設実習協定を締結し、その連携のもと、ペット美容室、ペットショップ業界、あるいはトリミング併設の動物病院の人材育成ニーズに沿った実践教育の機会を提供する。さらにトリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職としての職業観・勤労観を育み、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容  
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 連携企業1社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
動物業界演習	動物業界で様々な生体を扱う上で形態的に最低限必要な知識を身に着ける。 犬を中心とした、細胞・組織・各臓器の形態や機能を理解するとともに、遺伝の仕組みや免疫の仕組みを理解する、さらに動物医療におけるトリマーの役割を理解することを目的に、学生に対し実践的な演習授業を行う。	Kファーム・クリニック
ハズバンドリー実習 I	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解し、日常生活で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法を身につける。犬に不快や恐怖を与えない接し方や慣らし方、ボディランゲージを読み取れるようになること。QOL(生活の質)を上げるためのグッズや使用方法を学び、サロンやショップなどでお客様にアドバイスができるようになる。	Dog Life Lien

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。  
 このことは、以下のように就業規則第19条にも定められている。  
 「教職員は、その職務の遂行のため、自発的研修に励み、かつ、学校または各種団体の行う研修を受け、資質の向上に努めなければならない。」  
 ペットライフケア学科においては、最新の業界動向からのかい離や知識・技術の陳腐化を防ぐため、トリマー又は愛玩動物飼養管理・販売職に必要とされる実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される、関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2) 研修等の実績  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	トリマー教職員実技研修会	連携企業等:	一般社団法人 全国動物専門学校協会
期間:	令和5年8月2日(水)	対象:	竹村、山崎
内容:	飯田 一世先生による実技研修。 ・トイ・プードルのラムクリップの、検定基準の紹介、ポイント確認・質疑応答等。		

<p>研修名: 第1回ペットの災害対策研修会</p> <p>期間: 令和5年11月12日(日)</p> <p>内容: 講演1: ペットの災害対策について 長野県動物愛護センター(ハローアニマル) 橋井 真実 先生 講演2: 自治体の取り組みについて 長野県健康福祉部 食品・生活衛生課 及川 悦子 先生 これまでの災害の際に実施された被災ペット対策の取り組みと歴史、ペットとの「同行避難」と「同伴避難」、災害発生時の飼い主の役割「自助」、地域での助け合い「共助」、行政機関による支援「公助」といった、様々な対策のあり方について。また長野県の各自治体における災害時のペットに対する受入れ方針などについて、現状と対策。</p>	<p>連携企業等: 一社)長野県獣医師会松筑支部 松塩筑飼犬管理対策協議会</p> <p>対象: 小林、竹村</p>
<p>研修名: グルーマー(トリマー)教師向け研修会</p> <p>期間: 令和6年2月22日(木)</p> <p>内容: 学校法人佐山学園 アジア動物専門学校 校長 佐山百合子 先生 先生 グルーマー育成に関する現状とアタッチメンによるスピードトリミング、質疑応答では各校の実習実態などの情報交換が行われた。</p>	<p>連携企業等: 全国専修学校動物系教育協会</p> <p>対象: 小林、山崎</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p>	
<p>研修名: SNSの危険性とその留意点</p> <p>期間: 令和5年4月7日(金)</p> <p>内容: ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が普及し、コミュニケーションツールとして汎用する中で、安易な書込みがトラブルに発展したり、知り合い同士の空間であるという安心感を利用して詐欺やウイルスの配布を行う事例がある。SNSの危険性とその留意点についての情報を学生に指導するために受講した。</p>	<p>連携企業等: セーフティネット総合研究所</p> <p>対象: 小林、竹村、山崎</p>
<p>研修名: ハラスメント研修</p> <p>期間: 令和6年3月22日(水)</p> <p>内容: 各種ハラスメントを理解し、また、県内外の事例を知ることで、学生指導や保護者対応の参考とし、学生が安心して学校生活を送れるように、また、職場の人間関係も円滑となるよう受講した。</p>	<p>連携企業等: 弁護士 出井博文氏</p> <p>対象: 小林、竹村、山崎</p>
<p>(3)研修等の計画</p>	
<p>①専攻分野における実務に関する研修等</p>	
<p>研修名: 全国動物専門学校協会 教職員研修会</p> <p>期間: 未定</p> <p>内容: 未発表</p>	<p>連携企業等: 一般社団法人 全国動物専門学校協会</p> <p>対象: 小林、山崎</p>
<p>②指導力の修得・向上のための研修等</p>	
<p>研修名: 個人情報保護</p> <p>期間: 未定</p> <p>内容: 前年度に引き続きSNSの危険性とその留意点についての最新情報等を学生に指導するために受講する。</p>	<p>連携企業等: セーフティネット総合研究所</p> <p>対象: 小林、長瀬、山崎</p>

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」を元に、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論及び意見を基に作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	特に記載なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・学修成果としての資格の取得率の向上や各学科の授業成果について高い評価をいただくことができました。次年度も引き続き学校全体で取り組む計画としたい。
- ・学校ホームページやSNS等の有効活用についてご意見を頂き、ホームページについてはリニューアルの参考にし、SNS等の活用は今後も研究を続け情報発信をしていく。
- ・就職して困らないよう今後も知識・技術だけではなく、挨拶やコミュニケーション、チームワークなど授業内でも指導をしていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年10月20日現在

名前	所属	任期	種別
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 教授	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	松本大学	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
西村 明美	株式会社たちばな	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
林 兵司	パン工房 ブール	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院 放射線部 技師長	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスタイル 代表	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと 代表	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien 事業主	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
田中 優子	卒業生同窓会 会長	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: <https://www.mirai.ac.jp/information/index.html>

公表時期: 令和6年6月下旬

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後、実施後に公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

( ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

URL: <https://www.mirai.ac.jp/information/index.html>

公表時期: 令和6年6月下旬

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程 ペットライフケア学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		情報リテラシー1	Windowsの基本操作、表計算、プレゼンテーション作成を総合的に学ぶ。	1後	30	1	○			○		○		
2		○		情報リテラシー2	Windowsの基本操作、ワープロ、表計算、プレゼンテーション作成を総合的に学ぶ。	2前	30	1	○			○		○		
3		○		キャリアプランニング1	自己分析を通じて自分のゴールを再度確認し、実際の就職活動に即した履歴書作成、自己PRや志望動機を作成する。面接練習等、就職活動の礎を築く。	1前	30	1	○			○		○		
4		○		キャリアプランニング2	面接と電話応対を中心に、求人票の見方や企業情報の収集にも力を入れる。送付状や封筒の記入など実践直前の内容となる。	1後	30	1	○			○		○		
5		○		キャリアプランニング3	1年次で学習したことを再度確認する。履歴書の改正、電話応対・面接の再練習、企業情報の提供など、目標到達のためのサポートを行う。労働条件等などに加えて、今注目の働き方についても考える。	2前	30	1	○			○		○		
6		○		実務教養1	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1通	30	1	○			○		○		
7		○		実務教養2	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	2通	30	1	○			○		○		
8		○		総合演習1	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1通	30	1	○			○		○		
9		○		総合演習2	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	2通	30	1	○			○		○		



10		○	犬種概論	様々な犬種についての知見を広める。様々な犬種の歴史や、スタンダードについて、幅広く学ぶ。	1前	30	1	○		○	○									
11		○	動物業界演習	生体を扱う上で形態的に最低限必要な知識である、主に犬の細胞・組織・各臓器の形態や機能、遺伝の仕組みや免疫の仕組みを理解する。	1後	30	1		○	○	○							○		
12	○		ハズバンド グリーマー実習Ⅰ	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解する。日常で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法、QOL向上のためのグッズや使用方法などを学ぶ。	1前	30	1		○		○							○	○	
13	○		生命倫理・動物福祉	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）、およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。動物福祉の基盤となる5つの自由について理解する。	1前	30	1	○			○								○	
14	○		愛玩動物学1	犬猫の品種や習性を理解した上で、日々の適切な飼育管理、安全な散歩・運動、基本的グルーミング、被毛の手入れ、口腔内衛生管理、健康診断の内容や目的等。	1前	30	1	○			○								○	
15	○		愛玩動物学2	伴侶動物の歴史、品種、飼育管理法、エキゾチック動物の生態について理解する。	1後	30	1	○			○								○	
16	○		動物関連法規	動物や獣医療に関連する様々な法規について学ぶ。獣医療現場、公衆衛生、環境関連の動物医療関連法規（獣医師法、獣医療法、動物愛護及び管理に関する法律、ペットフード安全法、身体障害者補助犬法、狂犬病予防法、家畜伝染病予防法、薬事法、食品衛生法など）について理解を深める。	1前	30	1	○			○								○	
17	○		グルーミング 実習基礎1	犬の扱い、道具の扱い、掃除、接客方法などの基礎技術の習得。犬のグルーミングにおける基本ケア、トリミングについては部分カットの基礎知識と技術の習得。サロントリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術の習得。	1前	120	4				○	○							○	○
18	○		グルーミング 実習基礎2	犬の扱い、道具の扱い、掃除、接客方法などの基礎技術の習得。犬のグルーミングにおける基本ケア、トリミングについては部分カットの基礎知識と技術の習得。サロントリマー検定2級の合格を目標に時間内での全般的なトリミング技術の習得。	1後	120	4				○	○							○	○
19		○	動物飼養管理 学1	愛玩動物飼養管理士2級の試験対策を念頭に入れた飼養管理を学ぶ。	1後	30	1	○			○	○							○	

20				動物飼養管理 学2	成長段階に合わせた適正な食事、フードに関する知識、必須の栄養素、肥満予防について栄養学の基礎を学ぶ。	1 後	30	1	○		○	○	○				
21				動物飼養管理 学3	野生動物と展示動物に関する基礎的な知識を現実を通して学ぶ。正解の得られない世界でもあるのでワークショップという議論型式を採用しながら理解を深める。	2 後	30	1	○		○	○	○				
22				動物飼養管理 学4	人獣共通感染症や部位別の症状、状態を把握し理解することで、自身を守るとともに、飼い主との信頼関係にもつなげる。また、実際のトリミングでのトラブルや対処法について学ぶ。	2 後	30	1	○			○	○				
23				動物飼養管理 学5	猫の品種や習性を理解した上で、日々の適切な飼育管理、安全な散歩・運動、基本的グルーミング、被毛の手入れ、口腔内衛生管理、健康診断の内容や目的等。	2 後	30	1		○	○	○	○				
24				動物健康管理 学1	犬の疾病、消毒法や感染予防、健康管理について、ライフステージ別および部位別の特徴や注意すべき点を学ぶ。人獣共通感染症および、犬猫の主な感染症について学ぶ。	1 前	30	1	○			○	○				
25				動物健康管理 学2	愛玩動物飼養管理士試験2級の合格を目指す。その後、飼い主様に相談されることも多い、適正な食事内容、フードの与え方、肥満の予防など栄養に関する飼育管理についての知識をつける。	1 後	30	1	○			○	○				
26				動物健康管理 学3	犬の疾病、消毒法や感染予防、健康管理について、ライフステージ別および部位別の特徴や注意すべき点を学ぶ。人獣共通感染症および、犬猫の主な感染症について学ぶ。	2 前	30	1			○	○	○				
27				動物健康管理 学4	ワクチンや予防獣医療等、健康管理に必要な知識を身につける。緊急時対応（災害時含む）、グリーフケア等、動物の疾病や飼い主の心のケアに関わる基本的な重要事項について学ぶ	2 後	30	1			○	○	○				
28				動物人間関係 学	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的および社会学的側面から理解する。	2 前	30	1	○			○					○

29	○	動物行動学1	ヒトと動物のコミュニケーションは、ほとんどが行動を介して行われるため、動物行動を的確に理解し、ヒトと動物の間の絆としての役割を持つ必要がある。動物業界の従事者が動物行動学を学ぶことは、動物の身体および心の健康の保持に寄与する。動物福祉の基本原則『5つの自由』に関連する動物行動学の基礎と応用を適切に学び、専門職として求められる知識を身につける。	1前	30	1	○			○	○								
30	○	動物行動学2	ヒトと動物のコミュニケーションは、ほとんどが行動を介して行われるため、動物行動を的確に理解し、ヒトと動物の間の絆としての役割を持つ必要がある。動物業界の従事者が動物行動学を学ぶことは、動物の身体および心の健康の保持に寄与する。動物福祉の基本原則『5つの自由』に関連する動物行動学の基礎と応用を適切に学び、専門職として求められる知識を身につける。	2後	30	1				○	○	○							
31	○	動物美容学1	スキンケア、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全に行うためのルールを学ぶ。	1前	30	1	○	○		○	○								
32	○	動物美容学2	グルーミングの必要性和目的、犬体の構造や名称、スキンケア、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全に行うためのルールを学ぶ。	1後	30	1	○	○		○	○								
33	○	動物美容学3	グルーミングの必要性和目的、犬体の構造や名称、スキンケア、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全に行うためのルールを学ぶ。	2前	30	1	○	○		○	○								
34	○	動物美容学4	グルーミングの必要性和目的、犬体の構造や名称、スキンケア、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全に行うためのルールを学ぶ。	2後	30	1	○	○		○	○								
35	○	ハズバンダリー実習Ⅱ	動物行動学と動物福祉に基づくトレーニング方法を理解する。日常で必要となるハンドリングやグルーミング時の対策・対応方法、QOL向上のためのグッズや使用方法などを学ぶ。	1後	30	1	○			○	○							○	
36	○	比較動物学1	産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業などの社会との関わりについて学ぶ。 実験動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物との関わりについて学ぶ。 産業動物における動物福祉について学ぶ。	2前	30	1	○				○								○
37	○	比較動物学2	産業動物の歴史や品種、飼養管理法、および畜産業などの社会との関わりについて学ぶ。 実験動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物との関わりについて学ぶ。 産業動物における動物福祉について学ぶ。	2後	30	1				○	○	○							
38	○	動物美容実習基礎1	グルーミングの必要性和目的、犬体の構造や名称、スキンケア、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全に行うためのルールを学ぶ。	1前	120	4				○	○	○	○						

39		○	動物美容実習 基礎2	グルーミングの必要性と目的、犬体の構造や名称、スキンケア、各犬種のカットスタイル、道具の名称と使い方、犬の扱い方、安全に行うためのルールを学ぶ。	1 後	120	4			○	○	○	○		
40		○	動物美容実習 応用1	グルーミング実習基礎で学んだ知識をトリミングに活かしながら様々な犬種の全身カットの基礎知識を学ぶ。	1 後	120	4			○	○	○	○		
41		○	動物美容実習 応用2	グルーミング実習基礎で学んだ知識をトリミングに活かしながら様々な犬種の全身カットの基礎知識を学ぶ。	1 後	120	4			○	○	○	○		
42		○	グルーミング 実習応用1	実際にビッグパウクラブの会員犬のグルーミングをしながら、作業過程において必要な技術、知識習得を目指す。また、より飼主様に寄り添った接客を目指し、即戦力になる人材を目指す。	2 前	60	2			○	○	○	○		
43		○	グルーミング 実習応用2	実際にビッグパウクラブの会員犬のグルーミングをしながら、作業過程において必要な技術、知識習得を目指す。また、より飼主様に寄り添った接客を目指し、即戦力になる人材を目指す。	2 前	60	2			○	○	○	○		
44		○	グルーミング 実習応用3	実際にビッグパウクラブの会員犬のグルーミングをしながら、作業過程において必要な技術、知識習得を目指す。また、より飼主様に寄り添った接客を目指し、即戦力になる人材を目指す。	2 後	60	2			○	○	○	○		
45		○	グルーミング 実習応用4	実際にビッグパウクラブの会員犬のグルーミングをしながら、作業過程において必要な技術、知識習得を目指す。また、より飼主様に寄り添った接客を目指し、即戦力になる人材を目指す。	2 後	60	2	△		○	○	○	○		
46		○	ドッグトレー ニング基礎1	犬のトレーニングの知識習得および実技を行う 実際の道具やデモンストレーションを見たり、実践したりする	1 前	60	2			○	○	○	○		
47		○	ドッグトレー ニング基礎2	犬のトレーニングの知識習得および実技を行う 実際の道具やデモンストレーションを見たり、実践したりする	1 前	60	2			○	○	○	○		
48		○	ドッグトレー ニング基礎3	犬のトレーニングの知識習得および実技を行う。 実際の道具やデモンストレーションを見たり、実践したりする。 JAHA家庭犬マナーチャレンジ受験に向け、担当犬に試験項目のトレーニングを実施する 飼い主への指導・しつけ方教室の運営を想定し、各トリックの説明・デモンストレーション・コーチング・インストラクションについて学び実践する。	1 後	60	2			○	○	○	○		

49	○	ドッグトレーニング基礎4	犬のトレーニングの知識習得および実技を行う。 実際の道具やデモンストレーションを見たり、実践したりする。 JAHA家庭犬マナーチャレンジ受験に向け、担当犬に試験項目のトレーニングを実施する 飼い主への指導・しつけ方教室の運営を想定し、各トリックの説明・デモンストレーション・コーチング・インストラクションについて学び実践する。	2 前	60	2				○	○	○						
50	○	ドッグトレーニング応用1	学習理論の深い理解と、科学に基づくトレーニングについて実践を積む。 インストラクターとしての立ち居振る舞いや傾聴姿勢と技術、インストラクションスキルの習得のための経験を積む。 問題行動に悩む飼い主への対応、トレーニング後術について習得する。	2 前	90	3				○	○	○	○					
51	○	ドッグトレーニング応用2	学習理論の深い理解と、科学に基づくトレーニングについて実践を積む。 インストラクターとしての立ち居振る舞いや傾聴姿勢と技術、インストラクションスキルの習得のための経験を積む。 問題行動に悩む飼い主への対応、トレーニング後術について習得する。	2 後	90	3				○	○	○	○					
52	○	ドッグトレーニング応用3	学習理論の深い理解と、科学に基づくトレーニングについて実践を積む。 インストラクターとしての立ち居振る舞いや傾聴姿勢と技術、インストラクションスキルの習得のための経験を積む。 問題行動に悩む飼い主への対応、トレーニング後術について習得する。	2 後	60	2				○	○	○						
53	○	ドッグトレーニング応用4	学習理論の深い理解と、科学に基づくトレーニングについて実践を積む。 インストラクターとしての立ち居振る舞いや傾聴姿勢と技術、インストラクションスキルの習得のための経験を積む。 問題行動に悩む飼い主への対応、トレーニング後術について習得する。	2 後	60	2				○	○	○						
54	○	環境共生学	自然と人間と動物が共生していく際の諸問題を総合的に捉え、その方策を追求し、地域の発展と人間福祉、動物福祉の向上を目指す。	2 後	30	1				○	○	○						
55	○	コンパニオンアニマルケア実習	基本的な犬体チェックや保定法、尿検査・糞便検査等簡易的な検査、緊急時の救命処置等の説明と実践を行う。	2 前	30	1				○	○	○						
56	○	コンパニオンアニマルケア実習2	基本的な犬体チェックや保定法、尿検査・糞便検査等簡易的な検査、緊急時の救命処置等の説明と実践を行う。	2 後	30	1				○	○	○						
57	○	飼育実習1	学校保有動物の飼育・健康管理を行い、日々の変化など記録していく。	1 後	30	1				○	○	○						

58	○	飼育実習2	学校保有動物の飼育・健康管理を行い、日々の変化など記録していく。	2前	30	1				○	○	○					
59	○	飼育実習3	学校保有動物の飼育・健康管理を行い、日々の変化など記録していく。	2後	30	1				○	○	○					
60	○	総合パソコン実習1	Windowsの基本操作、ワープロ、表計算、プレゼンテーション作成に加え、業務上必要とされるパソコンスキルを培う。	2前	30	1				○	○	○					
61	○	総合パソコン実習2	Windowsの基本操作、ワープロ、表計算、プレゼンテーション作成に加え、業務上必要とされるパソコンスキルを培う。	2後	30	1				○	○	○					
62	○	動物業界研究1	自身の希望進路以外の業種においても、動物との関わり方を調べ今後に活かす。	2前	30	1			○		○	○					
63	○	動物業界研究2	自身の希望進路以外の業種においても、動物との関わり方を調べ今後に活かす。	2後	30	1				○	○	○					
64	○	動物業界研究3	自身の希望進路以外の業種においても、動物との関わり方を調べ今後に活かす。	2後	30	1				○	○	○					
65	○	学外実習1	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実際を知ることによって今後の学習目標および重点学習項目をより実践的に捉えなおす機会とする。	1・2通	30	1				○	○	○					
66	○	学外実習2	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実際を知ることによって今後の学習目標および重点学習項目をより実践的に捉えなおす機会とする。	1・2通	30	1				○	○	○					
67	○	学外実習3	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実際を知ることによって今後の学習目標および重点学習項目をより実践的に捉えなおす機会とする。	1・2通	30	1				○	○	○					
68	○	学外実習4	ペットショップ、美容室、動物病院等でプロの直接指導による業務経験を通じ、現場で必要とされる技術やサービスの実際を知ることによって今後の学習目標および重点学習項目をより実践的に捉えなおす機会とする。	1・2通	30	1				○	○	○					

69	○	総合実習1	動物の飼育管理、世話に必要な様々な手技の習得、調査・研究もしくは現場の実習を行う。実習での習得技術内容および調査・探求・実験（製作の場合もある）結果についてデータ作成、パワーポイント作成。内定先より提示された課題に取り組むこともある。現場で実習を行って課題を達成することも含む。学校保有動物の飼育・健康管理等を通し、動物の飼育管理に必要な視点と一連の技術を身につける。	2 前	30	1				○	○	○		
70	○	総合実習2	グルーミング実習2で学んだ基礎知識を活かしながら、保定法・足周りカットの基礎知識を学ぶ。	2 後	30	1				○	○	○		
71	○	総合実習3	すべての科目実習に於いて復習、練習、飼養等に活用し専門分野の向上につなげる。	2 前	30	1				○	○	○		
72	○	総合実習4	すべての科目実習に於いて復習、練習、飼養等に活用し専門分野の向上につなげる。	2 後	30	1				○	○	○		
73	○	総合実習5	すべての科目実習に於いて復習、練習、飼養等に活用し専門分野の向上につなげる。	2 後	30	1				○	○	○		
74	○	卒業研究・制作	卒業論文の制作。パワーポイントを使用したプレゼンテーション。動物に関する疑問や興味を持ったことについて研究を行い、研究テーマの内容によって必要であれば制作物を作る。	2 後	120	4				○	○	○	○	
合計					74	科目	62 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得		1 学年の学期区分	2 期
【必修科目】13単位、【選択必修科目】49単位 単位制履修に関する留意事項 履修方法：①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。		1 学期の授業期間	17 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。